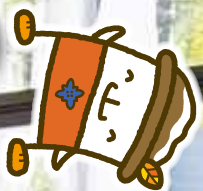


町立病院は、適切な医療提供に24時間対応しています。

具合の悪い時はいつでもご相談ください。

☎0237-74-2211



月山朝日観光協会×ニジ
キャラクター「カワさん」

にじかわ

NETWORK

2024
令和6年
10月号
No.823

主な内容

P2 | 地域がいきいき! 集まろう!

いきいきお茶のみ会

P6 | 令和5年度西川町決算報告

地域がいきいき！集まろう！

いきいきお茶のみ会は、高齢者支援のためにタブレットやデジタルで稼いだ「高齢者支援基金」を活用した事業です。

町では、地域にお住まいの高齢者をはじめとする町民の皆さまの「通いの場・集いの場」となる「いきいきお茶のみ会」の立ち上げと活動を応援しています。立ち上げ準備補助金や活動支援補助金、福祉バス無料貸出などの支援もしています。月1回開催の地区ミニデイとは異なり、お茶のみ会は週1回以上開催しており、より気軽に立ち寄れる集いの場となっています。

地域の中で高齢者の方がひとりぼっちにならないためにも、今後いきいきお茶のみ会の活動活性化と実施個所を増やすことを目標にし、地域や世代を超えた気軽な交流の場を設け、いきがいを感じられる町を目指していきます。今号では、町内の6つの「いきいきお茶のみ会」をご紹介します。

いってみっぺ【海味】



活動を振り返って
ドリームクラブでは年2回、スタッフの研修を行っています。先進的な取り組みをしている施設を見学したり、食事について勉強したり、「いってみっぺ」をより良くするために、スタッフも常に学び、活動に活かしています。また、スタッフ全員が楽しみながら活動しているのがありがたいです。それが10年間続けてこれた理由でもあり、スタッフに恵まれているといつも感じます。

今後の活動 高齢者だけでなく、保育園や小中学生との交流も行い、地域の絆を深め、世代を超えた交流にもつながっていきたくと思っています。この活動は、続けていくことが大切です。今後も長く続けていくためにも、これから次の代への引き継ぎなどをしっかりしていきたいです。

【日時】 毎週金曜/10:00~13:00 【場所】 海味公民館
【活動】 ・お茶のみ ・昼食提供 ・出前健康教室
【内容】 ・レクリエーション



さわやかサロン【上間沢】



活動を振り返って
平成24年の退職を機に念願のお茶のみ会を設立しました。人が集まる中で、こんな事やってみたいという意見と、様々な技術をもつ人が集まり、それらがマッチし、多様な活動を行うことができています。
100歳体操では毎月のべ50人を超える人が集まります。参加者は筋力維持の効果を実感してるそうです。
私たちにあって「さわやかサロン」は毎週の楽しみで、片付け後のみんなでお茶する時間は心がホッとできる瞬間です。

今後の活動 今後も「さわやかサロン」を継続していけるよう、新規の方も来やすいような新しいイベントなども計画していきたいと考えています。これからも地域の皆さんにとって豊かな人生を過ごすひとつの楽しみであるよう活動していきたいです。

【日時】 毎週金曜日/13:00~14:00 【場所】 上間沢集会所
【活動】 ・いきいき100歳体操 ・ものづくり(はけご、陶芸など)
【内容】 ・男の料理教室、蕎麦打ち



いきいきお茶のみ会

【お問い合わせ】
健康福祉課
地域包括センター係
☎74-4405

「通いの場」、いきいきお茶飲み会で通う(かよう)もの

自分の足で通う 「社会参加の入口」	生きがいと情報が通う 「楽しみと活躍」	お互いさま意識が通う 「おしゃべりから 広がる助け合い」	地域のあたたかさが通う 「支え合い」
「お茶のみ会」は「日常の通いの場」。参加することで、幅広い年代、さまざまな人生経験をもった人達との交流が楽しめます。	「お茶のみ会」は、好きなことや得意なことを行う「活躍の場」。「楽しみ」と「活躍」は、何よりの介護予防になります。	「お茶のみ会」でのおしゃべりはとても大切!知り合うことから、「助け合い」「ちょっと相談してみたい」が生まれます。	「お茶のみ会」から生まれ、広がるあたたかい支え合いの意識は、地域をめぐり、広がっていきます。

カラオケや健康麻雀が楽しめる いきいきサロン さらぬま **NEW**

今年の6月、お店を閉じました。「地域の人へ、恩返しをしたい」という思いで、お店を自分たちで改装し、地域のみなさんが集まれる場所をつくりました。楽しく体や脳の運動ができるスペースもあります。初めて方でもお気軽におこしください!是非みなさんの交流の場になればと思います。

【日時】 平日毎日(日・祝休) 8:30~17:30
【場所】 いきいきサロンさらぬま
【活動】 ・お茶のみ(無料)・出前健康教室
【内容】 ・卓球、囲碁・将棋、麻雀、カラオケ
※カラオケは要予約



男性も楽しめるお茶のみ会を企画 サロン de いりまる **NEW**

老人クラブの休止やコロナの影響で集まる機会が減りました。「高齢者の集える場をつくりたい!」という思いから、この度サロンを立ち上げました。ゆくゆくは性別や年代、地域に関わらず、交流できる場にしていきたいと考えています。みんなで集まり、話して、食べて、飲んで、歌って、笑って楽しい時間を過ごしましょう!

【日時】 毎週水曜日(変更有)
《月3回》10:00~12:00 《月1回》18:00~20:00
【場所】 入間公民館
【活動】 ・お茶のみ・料理教室・出前健康教室
【内容】 ・月1回夜開催(お酒あり)



世代を超えて楽しく交流 マルハルさとう【笑う部え】

昨年、店舗の一部を改装してお茶のみできるスペースをつくりました。平日・土曜・祝日の店舗のオープン時は、いつでもお越しください。お待ちしております!

【日時】 平日、土曜、祝日(変更有)
9:00~19:00
【場所】 マルハルさとう
【活動】 ・ケーキセット提供(月1回)
【内容】 ・ワークショップ(年4回)



いきいき100歳体操で筋力アップ 綱取 いきいきクラブ

週1回のいきいき100歳体操で筋力の維持向上に励んでいます。綱取地区以外の方でも参加したい方はぜひお越しください。ものづくり教室では、綱取文化祭に展示します。

【日時】
《4月~11月》 毎週水曜/19:30~20:30
《12月~3月》 毎週土曜/13:30~14:30
【場所】 綱取公民館
【活動】 ・いきいき100歳体操・ものづくり
【内容】 ・さろんほっこり(軽運動・ゲーム・会食)





菅野大志の

「いどばた会議」vol.27

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

1. 西川町は町制施行70周年！ありがとうございました！

西川町は、昭和29年に西山村・川土居村・本道寺村・大井沢村が合併し70年を迎えました。これまで、山、田、畑、川、伝統、文化を守っていただき、ありがとうございました！**町の自慢は、「人の温かさ」**。ある調査結果によれば、寛容な地域は、人口が増えやすいと言われています。わが町も移住者が増加。交流を通じて皆さまの温かさを実感してもらい、人口減少を緩やかにし、安心して生活できるよう、商店、病院、水道、道路をしっかりと維持します。

また、安心安全な町へ、寒河江ダム建設を英断いただいた横山万蔵元町長と移転を余儀なくされた112戸の皆さまに感謝。気候変動に伴う大雨被害が頻発している中、わが町の被害が少ないのは、その英断のおかげです。

西川町の温かさの伝わる動画をつくりましたので、ご覧ください。これからも西川町をどうぞよろしく願いいたします。

70周年記念式典は、11月3日(日) 10時から、あいべホールで開催します。



▲動画映像



▲動画はこちらから

2. つながるクーポン95%使用！

ここ2年間で、町には、かせぐ力がついてきました。

補助金獲得しやすい環境を整えるため、タブレットを配備しました。つながるクーポンも他自治体の2倍として、使用率95%を達成！紙の頃の88%よりも使っていただき！感謝です！

令和3年度と比べると、令和5年度のふるさと納税は、企業版寄附額が30倍以上、個人版寄附額が4倍に。NFTや視察料（1人5,000円）による町収入、地方創生関係の交付金など国の交付金の強化により、かせぐ力がついてきました。

町の貯金は、寒河江市と同じくらいを貯めています。これからは、必要な予算を投じ、押し車でも楽に歩ける、安心安全なまちを目指します。区からご要望のあった海味・本道寺2か所の道路整備6,000万円を投じて早期に着手します。



▲作戦参謀の黒田補佐と現場周り

3. 9/28、温泉ガストロノミー岩根沢、満足度100%！330名が参加！

ガストロノミーは、町内外・世代を超えた交流により、参加者は温かさに触れることで西川ファンとなり、また町民は、地域の誇りを再認識し、埋もれた資源の磨き上げにつながります。



▲丸山記念館も岩根沢三山仁寿も岩松寺も大盛況

今月の大ニュース！

『10月1日で、西川町は、おかげさまで、町制施行70周年!!』

ご登録お願いします！



▲町公式LINE



▲オープンチャット

しかも、西川は広く、魅力ある地域がたくさんあります。このため、コースを変えて毎年2回×5年開催。4回目の本会は、参加者数は過去最高を更新（リピーター多し）。参加者200人、ボランティア130人！おもてなしの質も、どんどん上がってきました！

これを継続し、観光協会と地域が対話して、観光資源を磨き上げる機会とし、町内の交流により、食文化も地域内で理解することにつながります。

岩根沢区のボランティア50人に加え、綱取、大井沢、ドリームクラブ、かわどい亭、商工会女性部、商工会青年部、お助け隊の皆さま、大変ありがとうございました！来年春は、満を持して「大井沢」で開催予定！

4. とともに助け合う町へ！ダンスイベントに各団体が協働！

9月29日、ダンスクラブの西川スマイリークラブさんによる「あおぞら舞踏会」が開催されました。本会は2年連続での開催です。道の駅のとなりの「フェリシア公園」に県内外の参加者・観覧者でにぎわいました。**ありがたいのは、本会に協力しようと、いろんな方々が協働してくれたこと！とともに助け合う町になってきたぞ！**

- ①水の流れる公園にしようと、水沢区の皆さまが、総合開発とともに、池・水路を清掃！
- ②きれいな会場にしようと、西川きれいにし隊がフェリシア公園の草刈をしてくれました！
- ③会場をにぎやかにしようと、道の駅にしかわは、キッチン



▲「あおぞら舞踏会」の様子

カーを呼んで秋祭りを開催！

5. 敬老会での対話はありがたい！

睦合、間沢、吉川、沼山、入間の敬老会にお招きいただき、皆様の笑顔に元気をいただきました。また、生活のお困りごとを教えてくださいました。**道路のへこみがある所、草刈が実施されていない所、駐車ラインが消えてる所を教えてくださいました。お手紙も頂き「よし！地域を守るため、これから益々頑張るぞ！稼いで財源をみつけるぞ！」と再度決意！**

ちなみに、総理は地方創生の創始者で地方創生交付金の倍増方針が打ち出されました！私と副町長が最も得意な分野であり、このような西川にとっての追い風を確実にとらえます🔥



▲教えていただき感謝

6. 「いきいきサロンさらぬま」がスタート

10月7日、間沢下堀の「さらぬま」さんが『いきいきサロンさらぬま』に生まれ変わりました。健康マージャン、将棋、カラオケ、卓球、お茶のみが楽しめます！ぜひお越しください。

財源は講演料やタブレットで稼いだ高齢者支援基金。他の地域でもチャレンジしてくれる団体がありましたらうれしいです。



▲いきいきサロンさらぬま

令和5年度 西川町決算報告

令和5年度一般会計決算における実質収支^{※1}は、6億6464万円の黒字となりました。前年と比較し、水沢温泉館大規模改修事業や小雪の影響により除雪関係に要する経費が減少したものの、ふるさと納税やタブレット端末配布事業、さらには産業振興複合施設整備事業の増加により、歳入は18・4％、歳出は14・1％それぞれ増加しました。

歳入は18・4％増加

歳入は、前年度に比べ11億8205万円（前年度比＋18・4％）の増となりました。

その中で増減の主なものを紹介します。まず、町税のうち、個人町民税が納税義務者の減少などにより174万円（▲1・1％）の減、固定資産税が償却資産の減少が影響したことなどにより1145万円（＋2・4％）の増となり、町税総額では461万円（▲0・9％）の減となりました。

地方交付税のうち普通交付税は、公債費の減少等により3808万円（▲1・5％）の減、特別交付税は地域おこし協力隊や地域おこし起業人の増加により8093万円（＋27・0％）の増となり、地方交付税総額では1億2073万円（＋31・8％）の増となりました。

国庫支出金は、豪雨災害に係る公共土木施設災害復旧費国庫負担金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などが減少したものの、やデジタル田園都市国家構想交付金などの増加により1億6710万円（＋19・1％）

の増となりました。

県支出金は、豪雨災害に係る農林業施設災害復旧費負担金や休廃止鉱山鉱害防止等補助金などの増加により2323万円（＋8・1％）の増となりました。

寄附金は、ふるさとづくり寄附金などの増加により1億763万円（＋78・5％）の増となりました。

町債は、産業振興複合施設整備事業などの増加により2億9960万円（＋62・3％）の増となりました。

財源別の構成比率は、自主財源^{※2}（町税等）が29・7％、依存財源（地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債等）が70・3％で、寄附金や繰入金の増などに伴い自主財源の比率が前年度比4・0ポイント増加しました。

歳出は14・1％増加

歳出は、前年度に比べ8億4693万円（前年度比＋14・1％）の増となりました。

主な増減の要因として、災害復旧事業費が6432万円（▲20・7％）の減となりましたが、タブレット端末配布事業の増加などにより物件費が4億4080万円（＋51・8％）、副業人材及び外部人材登用事業及び共聴施設ネットワーク強化支援事業の増加により補助費等が1431万円（＋1・3％）の増となりました。

その他、投資的経費は、産業振興複合施設整備事業や月山湖カヌースプリント競技場施設整備事業の増加などにより、3億7638万円（＋44・2％）の増となりました。

9月の町議会定例会で、西川町の令和5年度決算が認定されました。町民のみなさんから納めていただいた町税や国・県からの補助金、地方交付税金などがどのように使われたのかなど、主な内容と町の財政状況についてご紹介します。



※1 一般会計決算における歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額
※2 町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入の合計

町税の内訳

区分	税額	構成率	1人あたり
町民税	1億7,929万円	24.8%	38.782円
固定資産税	4億8,318万円	66.8%	104,517円
（うちダム関係以外）	（2億6,050万円）	（36.0%）	（56,349円）
軽自動車税	2,012万円	2.8%	4,352円
町たばこ税	3,075万円	4.3%	6,652円
入湯税	964万円	1.3%	2,085円
総額	7億2,297万円	100.0%	156,388円

町債の状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発行額	3億9,110万円	4億8,100万円	7億8,060万円
元金償還等額	7億3,600万円	7億4,944万円	6億7,664万円
うち繰上償還額	480万円	—	—
町債現在高	56億54万円	53億3,210万円	54億3,606万円

町の起債残高

会計区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般会計	56億54万円	53億3,210万円	54億3,606万円
公共下水道事業会計	6億9,449万円	6億4,237万円	6億249万円
農業集落排水事業会計	9,610万円	8,094万円	6,588万円
病院事業会計	5,357万円	4,161万円	3,035万円
水道事業会計	6億8,383万円	6億8,009万円	6億9,880万円
合 計	71億2,853万円	67億7,711万円	68億3,358万円

※令和5年度の起債残高中、普通交付税の算入見込額は40億9,509万円（見込割合59.9％）です。

特別会計

区分	収入	支出
国民健康保険事業	6億5,142万円	6億1,616万円
大井沢歯科診療所	206万円	205万円
公共下水道事業	1億8,786万円	1億3,366万円
農業集落排水事業	2,627万円	2,179万円
寒河江ダム周辺施設管理事業	481万円	328万円
後期高齢者医療事業	9,443万円	9,404万円
介護保険事業	7億2,945万円	7億1,834万円
宅地造成事業	795万円	788万円

企業会計

区分		収入	支出
病院事業	収益的	6億3,399万円	7億4,187万円
	資本的	1,176万円	5,503万円

※一般会計からの繰入金は収益的収入では2億6,137万円、資本的収入では863万円となり、合計2億7,000万円となりました。

区分		収入	支出
水道事業	収益的	2億602万円	1億9,551万円
	資本的	9,870万円	1億5,255万円

※一般会計からの繰入金は収益的収入では3,240万円、資本的収入では2,848万円となり、合計6,088万円となりました。

主な財源指標

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
財政力指数	0.23	0.22	0.22
経常収支比率	88.5%	89.7%	88.6%

町民1人あたりにすると…

町税負担

156,386円
対前年比 +3,320円
(+2.2%)

1,481,335円
対前年比 +213,103円
(+16.8%)



町の基金（貯金）

基金区分	基金残高
財政調整基金	11億2,876万円
減債基金	9億2,827万円
地域福祉基金	4,186万円
町有施設整備基金	3億9,218万円
丸山薫記念基金	127万円
ふるさとづくり基金	4億8,144万円
賃貸集合住宅維持管理基金	3,595万円
小水力発電維持管理基金	288万円
森林環境譲与税基金(新)	165万円
新型コロナウイルス感染症対策基金	1,943万円
企業版ふるさと納税寄付金基金	2,570万円
公務災害補償基金	201万円
土地開発基金	1億2,842万円
育英奨学基金	7,132万円
国民健康保険給付基金	1億7,660万円
介護給付費準備基金	7,520万円
合 計	35億1,294万円

町が所有している財産

土地（面積）	46,785,977㎡
建物（総面積）	66,530㎡
自動車（台数）	79台
有価証券等	9,919万円

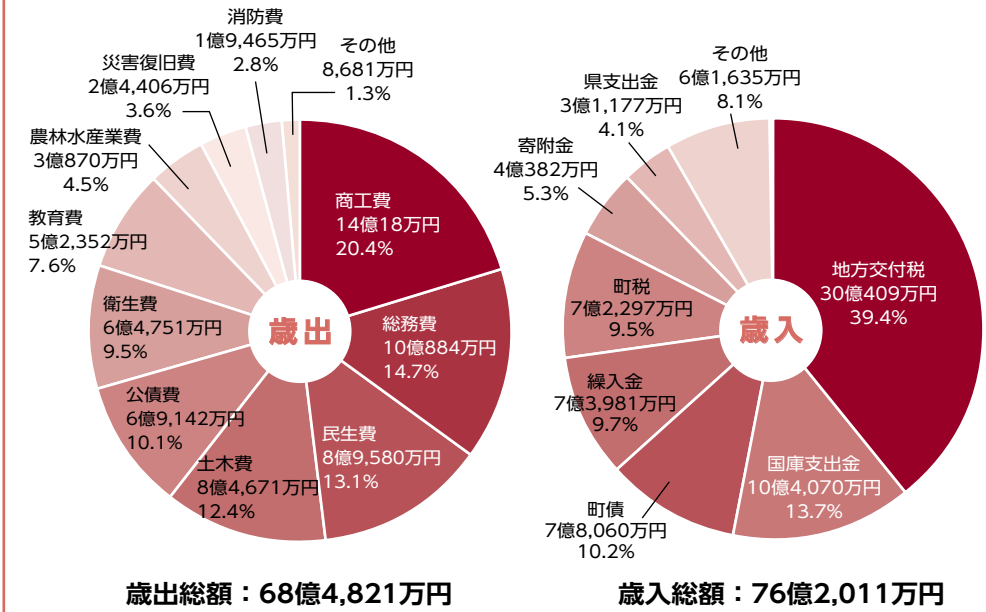
財政力指数

財政力を示すもので、1に近い、もしくは1を越えるほど、財政に余裕があるといえます。

経常収支比率

財政構造の弾力性を示す数値で、この値が100%に近いほど、自由に使えるお金が少ないことになります。

一般会計歳入・歳出



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和5年度決算に基づき健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率を公表します。

健全化判断比率

	西川町算定結果	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率 普通会計の実質赤字（歳入を歳出が上回った額）が標準財政規模に占める割合	－％（－％） （赤字額なし）	15.00％	20.00％
②連結実質赤字比率 すべての会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	－％（－％） （赤字額なし）	20.00％	30.00％
③実質公債費比率 公債費及び公債費に準じた経費が標準財政規模に占める割合	11.6％（12.0％）	25.0％	35.00％
④将来負担比率 地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債が標準財政規模に占める割合	－％（－％）	350.0％	

標準財政規模とは…地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを示す指標
※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため、「－％」と表示しています。※（ ）内の数字は昨年度のものです。

資金不足率

公営企業における資金不足比率 公営企業ごとの資金不足額が事業規模に占める割合	－（－） （資金不足なし）	経営健全化基準 20.0％	
---	------------------	------------------	--

※資金不足額がないため、「－％」と表示しています。※（ ）内の数字は昨年度のものです。

本町の令和5年度一般会計決算における入湯税の充当状況は次のとおりです。

(単位：千円)		
令和5年度入湯税	予算額	収入済額
	7,891	9,635

(単位：千円)							
事業名		経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち入湯税
			国(県)支出金	町債	その他		
観光の振興	観光情報広告宣伝事業補助金	660	330			330	162
	観光推進機能強化事業補助金	11,400	5,700			5,700	2,796
	観光情報・誘客推進事業補助金	3,864				3,864	1,896
	観光施設管理整備事業	17,898	8,151			9,747	4,781
合計		33,822	14,181			19,641	9,635

健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率は、町の財政の健康状態を示す数値です。

令和5年度決算に基づく健全化判断比率のうち実質赤字比率、連結実質赤字比率は、ともに赤字額がないため比率なしとなりました。

また、実質公債費比率、将来負担比率ともに早期健全化基準を下回っています。なお、公営企業会計においても、資金不足がないため比率なしとなりました。

表中③の実質公債費比率は、借金の返済額にあたる元利償還金が減少したことに伴い昨年度より0・4ポイント減少し11・6％となっています。

また、表中④の将来負担比率は、借金等の将来負担額よりも普通交付税算入見込み額や基金残高等が上回るなどしたため、今年度も比率なしとなっています。

本町は全ての比率において基準を下回っており、健全な財政状況にあります。今後も引き続き行財政改革に取り組み、健全な財政運営に努めていきます。

入湯税は、地方税法第701条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興（観光施設の整備を含む。）に要する費用に充てるため、課税するものです。

本町では地方税法に基づく西川町町税条例の規定により、鉱泉浴場における入湯に対し、一人一日150円（宿泊を伴わない場合は75円）を課税しており、令和5年度決算における収入済額は、964万円となっています。

一方、入湯税を充当すべき事業は地方税法で定められており、本町では充当対象事業として、観光振興事業（3382万円）にに対し充当しています。

電源立地地域対策交付金事業について

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の設置や運転の円滑化を図るため、電源地域の市町村が行う公共用施設の整備や地域住民の福祉の向上を図るための地域活性化事業に対して、国から県を通じて交付されています。

本町では、令和5年度交付額1864万円を住民の福祉の向上に資する事業として「にしかわ保育園」の運営費2561万4千円の一部に充当し、子育て支援のために有効に活用しています。

社会保障の安定財源の確保を図る税制の抜本的な改革を行うため、平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が5%から8%へ、令和元年10月1日から、8%から 10%へ引き上げられました。この引き上げ分に係る地方消費税交付金については、全て「社会保障施策に要する経費（事務費や事務職員の人件費は除く）」に充てるとされています。

本町の令和5年度一般会計決算における上記経費の充当状況は、次のとおりです。

【歳入】	市町村交付金（社会保障財源化分）	69,668 千円
【歳出】	社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	736,167 千円

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 (単位：千円)

事業名		財源内訳				
		特定財源				
		経費	国(県)支出金	町債	その他	一般財源
社会福祉	障害者自立支援事業	134,652	102,469			32,183
	障害児支援事業	7,004	4,868			2,136
	老人保護措置費	20,074		2,700	2,047	15,327
	後期高齢者医療に関する経費	81,1980	16,208			64,990
	子育て支援医療給付事業	17,168	3,518	12,900		750
	ひとり親家庭等医療給付事業	1,387	693			694
	小計	261,483	127,756	15,600	2,047	116,080
社会保険	介護保険事業（特別会計繰出金）	98,009	4,893			93,116
	後期高齢者医療事業（特別会計繰出金）	28,863	21,610			7,253
	国民健康保険事業（特別会計繰出金）	63,532	15,291			48,241
	小計	190,404	41,794			148,610
衛生保健	後期高齢者健診事業	5,808			3,501	2,307
	病院事業（病院事業会計繰出金）	270,000	1,121			268,879
	大井沢歯科診療所事業（特別会計繰出金）	680				680
	救急医療対策事業	3,786				3,786
	妊婦健康指導事業	1,019				1,019
	町民健康づくり推進事業	2,987			7	2,980
小計		284,280	1,121		3,508	279,651
合計		736,167	170,671	15,600	5,555	544,341

一般財源のうち、引き上げ分の地方消費税交付金	69,668
引き上げ分の地方消費税交付金を除く一般財源	474,673

～山形月山SEA TO SUMMIT 環境シンポジウム～

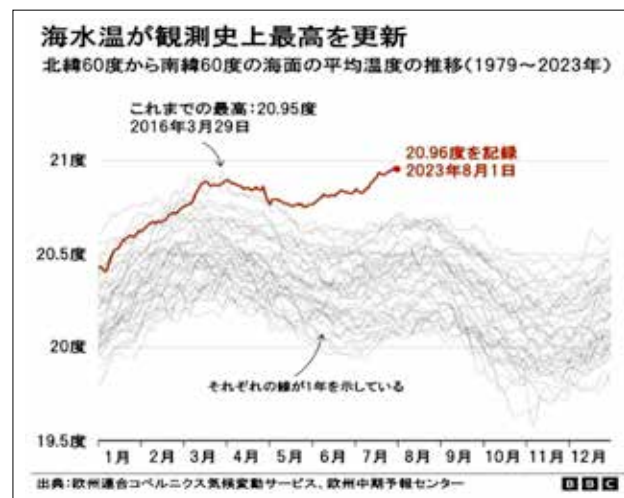


町内で開催された「山形月山SEA TO SUMMIT」の一環として、8月31日、元環境事務次官である中井徳太郎氏に「月山・最上川水系の森里川海 流域の地域循環共生圏」をテーマとして環境シンポジウムでご講演いただきました。

町の将来を考えるに当たり、示唆に富んだ内容でしたので、少しご紹介いたします。

I 地球は変貌している

地球温暖化が叫ばれるようになり久しくなりましたが、温暖化の影響は海洋にも及んでいます。日本近海を含む世界全体の海水温が上昇しており、その結果として、豪雨が増えているというのです。西川町に大きな被害をもたらした令和2年7月の豪雨や、本年、庄内平野などを襲った豪雨は、その例と言えるでしょう。



II いのちを守る 流域の地域循環共生圏

今年の豪雨では最上川が氾濫し、被害が発生しました。

これまで、洪水を防ぐための「治水」の手法としては、堤防の構築やダムの建設などのインフラ整備が選択されてきました。しかしながら、温暖化に伴う豪雨の増加により、インフラを整備するだけでは治水が追い付かなくなっているのが現状です。

そこで重要となってくるのは、このシンポジウムで紹介された「地域循環共生圏」という考え方です。「地域循環共生圏」とは、資源を循環利用して「自立」する地域を表す概念で、簡単に言えば、地域の中でエネルギーや食料などを「自給自足」する地域のことです。

この「地域循環共生圏」では、自給自足を通じて「ゼロカーボン」などの地球温暖化への対策を講じることが可能です。

また、「地域循環共生圏」が複数連携していくことにより、より大きな地球環境の変化に対応していくことも可能となります。

例えば、今年の豪雨では最上川が中流～下流域で氾濫しましたが、「治水」だけでは十分ではないのは先述のとおりです。このため、西川町のような最上川（寒河江川）の上流域において、



豊かな森林や田んぼを守り、雨水が最上川（寒河江川）に急激に流れ込むことを抑える天然のダムを形成することで水害のリスクを下げる「流域治水」と呼ばれる取組が今後重要になってくるというのです。

III 月山・最上川水系の「地域循環共生圏」

最上川の流域でこれからも暮らしを守っていくためには、このように「地域循環共生圏」の相互連携が重要となってきます。西川町としては、ゼロカーボン等を通じて「地域循環共生圏」を目指すだけでなく、下流域の「地域循環共生圏」との連携も模索し、地球温暖化という課題に立ち向かっていく考えです。



まちづくりNews

提案型住宅で上棟式を行う

8月23日、海味地区に建築中の西川町提案型住宅の上棟式が行われました。

はじめに、建築関係者や入居予定者による厳かな神事を挙行。その後は、近年は見るのが少なくなった「餅まき」が盛大に行われました。

近隣住民の皆さんや西川小放課後こどもプランの皆さん、町内で体験旅行中の東京からお越しいただいた「ローヤルエンジニアリングこども食堂」の皆さんにも参加いただきました。住宅完成まで安全に工事を進めて参ります。



▲上棟式の様子

宿泊機能を備えたプレジャー対応型施設の起工式を行いました！

9月24日、旧西部保育園跡地に建設予定の「仕事と余暇」を組み合わせたプレジャー対応型施設の起工式が行われました。この施設は、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、地元水沢区からの要望と町が抱える地域課題の解決が図れる施設として期待され、来春の開館を予定しています。当日は、水沢区長をはじめ、多数の関係者が出席するなか工事の安全が祈願されました。

この施設の整備によって、これまで以上に滞在型観光の誘客や関係人口の創出が図れるとともに、町民の皆さんとの交流機会の拡充が見込まれます。



▲起工式の様子

海味地区のこれからを考える ワークショップを開催！

9月29日にトラスにて、海味地区のこれからを考えるワークショップを開催しました。ワークショップには、海味地区にお住いの方やまちづくりに興味のある方が41名参加。町内で最も空き家の数が多く、かつ集積している海味地区の旧六十里越街道沿いの活性化や、海味温泉の利活用策について議論を交わしました。

町では、一般財団法人民間都市開発推進機構のまちづくりファンド支援事業を活用した空き家対策を計画しています。今後は、空き家を活用してビジネスを行うたい方向けの対話会も開催する予定です。



▲ワークショップの様子

月山朝日山岳遭難搜索救助隊との対話会を開催

9月19日、トラスにて山岳遭難の搜索整備体制に関する対話会を開催しました。対話会には、警察署、消防署、消防団、搜索救助隊の各方面隊（岩根沢、本道寺、志津、大井沢）の隊長・副隊長が参加。搜索救助隊は、町内で発生する山岳遭難の搜索救助等の活動を行っています。近年、隊員の高齢化や減少が進んでいます。

対話会では、隊員の高齢化・減少の解決に向けて、現状共有や現場が抱える課題について意見交換を実施。参加者か

らは、搜索隊の組織再編の必要性や、若い人が山を好きになるような研修会の企画、搜索隊内のチームワークを上げる取組みが必要といった意見が出されました。

今後、町では、対話会で出た意見の分析・整理を行い、対応策を取りまとめていきます。



▲対話会の様子

西川町初！ 電子クーポン「つながるクーポン」 ご利用いただきありがとうございます！

先月は西川町で初めての電子商品券「つながるクーポン」をご利用いただき、誠にありがとうございました。初めての試みでしたが、大きなトラブルもなく無事に終わることができました。これは町民の皆さまのご協力のおかげです。また、「つながるクーポン」の利用率も95%を超え紙の商品券の実績（90%弱）に比べたくさんの町民の皆さまにご利用いただきました。

町では、全世帯に配備したタブレット「つながるくん」を活用した電子商品券を初めて発行したことから、地域おこし協力隊や集落支援員、お助け隊、町職員などでチームを編成し、公民館30か所以上の説明会、すべての世帯を訪問するなど高齢化率47%の町で誰一人取り残さない丁寧な対応を進めてきました。

今回、電子商品券に参加いただいた事業者及び役場内の事務作業が従来の紙商品券の時に比べ、十分の一になりました。これらの時間を今後は現場に出て、さらなる町民との対話を通じ、残り5%の利用できなかった方が利用できるようにしていきます。また、現場に出て、町民の皆さまからいただいたご意見は今後の町政に活かしていきます。

「つながるくん」活用により、国からの補助金を獲得、これにより町立病院の維持・水道料金を上げないよう努めていきます。「つながるクーポン」は今後も発行予定です。次回も今回の設定内容をそのままご利用いただけるので、再設定の手間はありません。ぜひ次回もご利用ください。



▲移動販売でクーポンを利用



▲クーポン説明会の様子

西川月山カヌーセンター 愛称命名権NFTが150万円で落札！

月山湖カヌースプリント競技場に建設中の西川月山カヌーセンターの愛称命名権NFTオークションが、9月1日から実施されました。その結果、昨年、道の駅にしかわの公園命名権NFTを落札した学校法人明泉学園長の百瀬義貴さんが150万円で落札されました。

西川月山カヌーセンターは来年6月に完成予定で、愛称はこれ以降5年間、センターの看板に掲げられることとなります。

人生100年時代を豊かにする 商品開発の対話会を開催しました！

日本は世界で一番早く高齢化を迎える国で、高齢になってからも最後までいきいきとした人生を過ごすことでできるためのサービスや商品が重要になっています。

この流れを受け、9月19日・20日の両日、広告代理店「博報堂」が行っている、人生100年時代を豊かにするための商品やサービスを創るプロジェクトの対話会がトラスを会場に開催されました。対話会には、町民18名とケアハイ

ツ入居者3名が参加。対話会は、介護や自立支援のケア意識に関すること、女性特有の不調や健康課題、老後の健康・運動実態の把握、介護施設に通われている方の日常の困り

ごとの4つのグループに分かれて、日ごろ感じていることや悩み事など、会話も盛り上がり和やかな雰囲気の中、行われました。今後も、西川町では高齢になってもいきいきと健康やかに暮らせるための取組みにチャレンジをしていきます。



▲対話会の様子

令和6年度9月補正予算の概要

令 和6年度一般会計補正予算（9月補正）が議会で承認されました。この度の補正予算では、第7次西川町総合計画の基本目標に掲げた「育む！」「持続する！」事業を推進するとともに、「支え合う」事業では令和6年7月豪雨災害に係る災害復旧費を、「つながる！」事業では地域おこし協力隊、地域活性化起業人に関する予算を盛り込んでいます。

8月補正 1,100万円 9月補正 5億4,500万円

当初予算と合わせた予算規模 81億4,000万円

西川町史上初の予算80億円超え!!

「つながる！」

副業人材及び外部人材登用事業 ／2,500万円



民間企業の専門知識・ノウハウを活かして課題解決・地域活性化を図るため、国の制度を活用した地域活性化起業人を委嘱。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○		○	○	○

つなぐ課

地域おこし協力隊経費/3,870万円



町の課題解決に取り組むとともに、自らの得意分野を活かして地域活性化を図るため、国の制度を活用した地域おこし協力隊を配置。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
	○		○	○	○

つなぐ課

集落支援員経費／880万円



地域の課題解決やすだいいことを実現するため、国の制度を活用した集落支援員を配置。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○		○	○	○

つなぐ課

町制施行70周年記念事業 ／150万円



11月3日に開催予定の町制施行70周年記念式典のパンフレット印刷代、功労者表彰・感謝状贈呈のための賞状、記念品代等。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○	○	○		

まなぶ課

林政全般に要する経費／220万円



ツキノワ合同会社と西川町地域資源活用イノベーション推進協議会が取り組む地域循環共生圏づくり支援体制構築事業のための貸付金等。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○	○	○		○

みどり共創課

ふるさと納税対策事業 ／2億2,420万円



令和6年度における個人版ふるさと納税の寄附見込み額が、当初予算算定時の3.5億円から5億円に増加したことに伴うもの。返礼品代、送料等。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保

つなぐ課

「支え合う！」

町単独土木施設災害復旧事業 ／470万円



令和6年7月豪雨災害で被災した小規模な箇所が、早急に通行できるよう災害復旧工事を実施。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○	○		○	

建設水道課

町道側溝整備事業／700万円



5地区からの要望箇所を、通行する車両もそこで生活する方も安心安全に生活できるよう側溝整備工事を実施。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○	○		○	

建設水道課

町道改良事業／5,150万円【建設水道課】



本道寺・海味地区からの要望箇所を、押し車でも楽に行ける道路を目指して、舗装補修工事を実施。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○	○		○	

建設水道課

予防接種支援事業／1,990万円



高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種を受けられる町民を対象として、接種費用の一部を助成します。町立病院で接種する場合はさらにお得です。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○	○		○	○

健康福祉課

在宅介護応援事業／110万円



同居する要介護度4または5、障害者手帳1、2級等を所持されている寝たきりの状態にある方と、日常のすべてにおいて居家で介護をされている方を応援する支援金。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○					

健康福祉課

公共土木施設災害復旧事業 ／1,100万円



令和6年7月豪雨災害で被災した箇所を国に申請し、迅速かつ円滑な災害復旧事業を進めてまいります。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○	○		○	

建設水道課

人工透析患者通院費助成事業／76万円



障がい者手帳をお持ちの方で、人工透析のために通院を行っている方に対してその通院費を補助するもの。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○				

健康福祉課

老人福祉センター運営に要する経費 ／900万円



老人福祉センターを運営するために必要な経費の補助金。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保
○	○			○	○

健康福祉課

保健センター維持管理事業 ／750万円



老朽化し雨漏りが生じている町立病院とケアハイツ西川をつなぐ渡り廊下の屋根修繕と、保健センターを安全にご利用いただくため、スロープを改修するもの。

ニーズ ベース	課題 解決	経済 循環	関係 人口	持続 可能	財源 確保

健康福祉課

令和5年度 病院事業会計決算報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症病床確保対策補助金の終了やワクチン接種及び PCR 検査の減少から、事業収入が4年度と比べ1約億100万円の減少となりました。

会計状況としては、病院事業の収益に対し費用が超過しており、一般会計から2億6137万3千円を繰り入れても1億788万2千円の赤字となりました。これは、令和6年3月に策定した西川町立病院経営強化プランに記載しているとおり、町の財政状況として病院会計の黒字化に合わせて繰入することが限界に近付いていることから、繰入金の限度を約3億円とし、赤字決算で累積赤字を抱えながら国が求めている令和9年度の黒字化を目指すというものです。少しでも累積赤字を圧縮できるよう、経営強化プランに基づく取り組みを着実に実施していきます。

1. 病院事業収益費用明細書

【収入】

区 分		金額(円)	構成率
医 業 収 益	入院収益	137,451,618	21.7%
	外来収益	151,179,637	23.8%
	その他医業収益	100,259,506	15.8%
医業外 収 益	受取利息配当金	2,856	0.0%
	他会計負担金	210,463,000	33.2%
	他会計補助金	15,114,000	2.4%
	長期前受金戻入	11,341,154	1.8%
	その他医業収益	8,178,424	1.3%
計		633,990,195	100.0%

【支出】

区 分		金額(円)	構成率
医 業 用 費	給与費	464,916,848	62.7%
	材料費	50,899,693	6.9%
	経費	145,479,172	19.6%
	減価償却費	57,961,508	7.8%
	その他医業費用	2,484,159	0.3%
医業外 費 用	医業外費用(※1)	20,130,800	2.7%
計		741,872,180	100.0%

※1：雑損失14,474,058円(控除対象外消費税)や長期前払消費税償却など。

収益的収支 -107,881,985円(純損失) 当年度末処理欠損金(累積欠損金)152,623,053円

2. 病院事業資本的収支明細書

【収入】

区 分		金額(円)
資本的 収 入	他会計補助金	3,759,000
	一般会計出資金	7,506,000
	国庫補助金	498,000
計		11,763,000

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補填

【支出】

区 分		金額(円)
資本的 支 出	有形固定資産購入費	29,606,378
	病院施設整備費	10,190,000
	企業債償還金	11,259,259
計		51,055,637

3. 令和5年度の業務状況

- 入院患者数は前年度とほぼ同じですが、外来患者数が減少しました。これらの患者数は経営強化プランで定めた指標も達成できませんでした。
- 患者1人1日当たりの診療収入は、前年度と比べ入院が減少し、外来が増加しています。経営強化プランで定めた指標は達成できました。

指 標	実 績	前年度比	経営強化プラン	
延入院患者数	5,010人	4人減	—	—
1日平均入院患者数	13.7人	同数	14.2人	未達成
病床利用率	31.8%	0.1%減	33.0%	未達成
延外来患者数	20,842人	804人減	—	—
1日平均外来患者数	85.8人	3.3人減	89.7人	未達成
入院患者1人1日当たり診療収入	27,436円	48円減	27,103円	達 成
外来患者1人1日当たり診療収入	7,254円	292円増	6,860円	達 成

～おめでとうございます～

Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

※敬称略



西村山地区中学校新人総合体育大会

▼男子バレーボール部▼第2位(県南ブロック大会出場)

▼女子バレーボール部▼第3位

▼男子剣道部(個人)▼第2位(尾形優斗(2年) 県南ブロック大会出場)

▼女子剣道部(個人)▼ベスト8(奥山美咲(2年) 県南ブロック大会出場)

▼ベスト10(奥山美桜里(2年) 県南ブロック大会出場)

▼WK2▼優勝(安藤まり(2年・高橋美礼(2年) 第5位(安藤まり

▼WK1▼第3位(高橋美礼

▼C1▼優勝(荒木久隆(2年) 第2位(鈴木琥葉久(2年) 第4位(太田和輝(2年) 第2位(太田和輝・鈴木琥葉久(女子)

西川中が各種目で練習の成果を発揮!

9月7日にカヌー競技の山形県中学校新人体育大会、9月21日(22日)に球技、剣道の西村山地区中学校新人体育大会が各会場で開催され、西川中学校の生徒たちが素晴らしい活躍を見せました。各競技の入賞者をご紹介します。

大会成績

山形県中学校新人総合体育大会カヌー競技

(男子)

▼C1▼優勝(荒木久隆(2年)

▼K1▼第2位(鈴木琥葉久(2年)

▼第4位(太田和輝(2年)

▼K2▼第2位(太田和輝・鈴木琥葉久

(女子)

▼WK2▼優勝(安藤まり(2年・高橋美礼(2年)

▼WK1▼第3位(高橋美礼

▼第5位(安藤まり

おたすけ隊活動中! ~町のお困り事を手伝います~

【活動内容】 6期: 4名 (9月23日~10月6日)

町 民	草取り・根曲がり竹の間伐・ツタ取り
ONSEN ガストロノミー手伝い	テント設営・ウォーキングガイド・片付け
まなぶ課	テント洗い・布団干し
にしかわ保育園	運動会用具運び
つながるクーポン事業	つながるクーポン呼びかけ



【お問い合わせ】 イノベーションハブ TRAS ☎: 85-0155 担当 いそあい 磯合・横山

図書館さ、いぐべ～。

お問い合わせ
西川小学校図書館 ☎ 8 5 - 0 0 7 7

■ 10月のおはなし会

日時：10月19日（土）
10時30分～

- ★ねずみのえんそく
もぐらのえんそく
- ★しょじょのためきばやし
- ★てづくりおはなし
- ★こうさく
- ほかエプロンシアターなど



■ ファンタイムライブラリー2024を開催します

今年のテーマは「防災」です。
午前の部では、サークルぴーつくによるおはなし会と工作教室を開催します。
午後の部では、元西村山広域行政事務組合消防本部職員で現在学校支援コーディネーターの 叶 和美 氏 により、身近な防災についての講演を行います。

日時：11月30日（土）
午前の部 10：30～ 午後の部 14：00～

場所：西川小学校図書館 交流室

対象：どなたでもお申し込みできます。

定員：30名程度
(午前・午後それぞれ)



放課後子ども教室にしかわ

活動紹介

だんだん秋らしくなってきました。子ども教室では、毎日元気いっぱい子どもたちの声で溢れています。けん玉教室では、1年生たちが一生懸命練習し、どんどん級を獲得しています。あっという間にスタッフは追い越されてしまいました。本当にけん玉が上手で、さすが西川の子どもたちだなと感じています。英語や読書にも触れ、秋も楽しんでいけたらと思います。



放課後子ども教室にご協力いただける方、子どもたちと一緒に活動したい持ち込み企画がある方など大募集中です！

【お問い合わせ】
まなぶ課 ☎ 0237-74-2114

にしかわ保育園

れいわいひろば

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子 ●緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子

保育園コーナー

「あそびながら 楽しく英語に触れる」

にしかわ保育園では、毎週水曜日が「ハッピータイム」A.L.T.の先生が来て、英語の音楽に合わせて踊ったり、歌ったり、英語での絵本の読み聞かせやゲームをします。
1ヶ月に1回インタラクから先生が来てくれて、ますます楽しいハッピータイムになります。



▲ALTの先生とみんなでガオー！



▲先生の英語を真剣にきくよ



▲英語に合わせて手を叩こう！



▲英語でもケーキはケーキ！



▲みんなで踊ったよ



▲応援準備バッチリ！

つくるべえの日
9月のつくるべえでは、運動会の応援グッズを作りました。



▲みんなでダンス！

ぽっかぽかコーナー

ハッピータイム

月に1回ジョー先生のハッピータイムは、小さな赤ちゃんにも大人気です！



■10月は「がん検診推進強化月間」です！！

がんは、一生のうちに2人に1人がかかる可能性がある身近な病気です。がんの早期発見には、症状が無くても定期的ながん検診を受けることが重要です。

町では、胃・大腸・肺・乳・前立腺がんの検診は35歳以上、子宮がん検診は20歳以上の方から受けられます。また、節目健診該当（42歳・49歳・58歳）の方はすべての健診が無料で受けられます。

今年度、まだがん検診を受診していない、受診の予定がない方は今からでも申し込みできますので、ぜひ、受診をご検討ください。各検診の申し込み、お問い合わせは下記までお願いします。

※節目健診：42歳（昭和57年4月1日～昭和58年3月31日）
49歳（昭和50年4月1日～昭和51年3月31日）・58歳（昭和41年4月1日～昭和42年3月31日）

《町のがん検診について》

検診機関	期 日	対象検診
西川町立病院	月～金（令和7年2月まで実施）	胃がん（内視鏡）、大腸がん、肺がん、乳がん、前立腺がん
総合健診センター	西川町指定日（令和7年1月まで実施） ※日程についてはご相談ください。	胃がん（バリウム）、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん、前立腺がん

※がん検診の他、基本健診、骨密度測定等も実施できます。

《個別子宮がん検診》

国井クリニック	令和6年10月1日～令和7年2月28日 ※健康福祉課へ申し込み後、医療機関へ予約となります。
---------	---

【お問い合わせ】
健康福祉課健康推進係
☎ 74-5057

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

吉本のお笑い芸人と交流会を開催

9月20日、放課後子ども教室に、山形県住みます芸人のソラシンドのお二人と、吉本新喜劇座員の服部ひで子さんが訪問し、交流を図りました。子どもたちは、お客さん役（ツッコミ）と店員さん役（ボケ）に扮し、「スッコケ」を体験。机をたたいて音を出す、大げさにコケる、痛くないようにコケる等、本場のコケ方を教えてもらい、上手にスッコケていました。



▲ずっこけを披露する子どもたち

9月20日、災害発生時の応急復旧や町道除雪を担う、西川町建設クラブとの対話会を開催しました。

まず、除雪の最低保証に関する覚書や債務負担行為を使った工事の早期発注、デジタル化推進の成果等を説明。建設業の現状や担い手確保に向けた課題等、たくさん意見が出されました。債務負担行為を使った工事の早期発注は、発注時期の平準化にもつながり、大変効果があったと評価を受けました。



▲第7次西川町総合計画をもとに現状と課題の意見交換を行った

災害復旧や除雪を担う建設業の課題解決へ建設クラブとの対話会を開催

町は今後も引き続き、課題解決へ向けて建設クラブと対話していきます。

いきいき健康人 西川で元気に輝く皆さんを紹介します



▲清野玉蓉さん（87歳）・海味

清野玉蓉さんは87歳の現在も書道の指導を続けています。「出会いを非常に大切にしている」と話す清野さんは、教え子からの贈り物やかつての教え子が母となり、その子どもも指導した話など、これまでの出会いを嬉しそうに話していました。多くの出会いにより、心にいっぱいのお宝があるそうです。

清野さんは「教えることは習うこと」と話し、指導を通じて自身も成長することができたと感じています。生徒の書の手本は、一人一人清野さんが書きます。何を書きたいのか、この字を書いたら良いのではないかなど、書く人に合わせた字を選びながら、自身も「手本」とするために試行錯誤して書くそうです。それが勉強となり、ここまで書道を続けてこれたと話します。なにより教えることが楽しいと笑顔で話してくれました。

伊藤貢先生の

元 気 ア ッ プ ！
運 動 教 室 PART315

今月のテーマ：

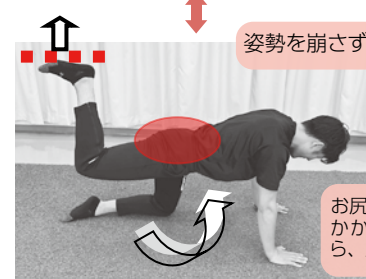
「運動しやすい季節になりました！」

お尻の筋肉を鍛えましょう！（片脚5～10回）



スタートポジション

四つん這いの姿勢で体を安定させる



姿勢を崩さずに、片脚を持ち上げる

お尻を意識して行いましょう！
かかとを天井にあげるようにしながら、脚の上げ下げを繰り返しましょう。

●注意点●

- ①呼吸を止めずに（踏ん張らずに）行いましょう！
- ②体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
- ③可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。

参考・引用資料
※健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023・nhlw.go.jp
<https://www.nhlw.go.jp/content/001194020.pdf>

「運動しよう」と言われると、ハードルが高く感じられる方もいらっしゃるかもしれません。運動とは、身体活動のうち、スポーツやフィットネスなど、健康・体力の維持・増進を目的として計画的・定期的に実施されるものを指します。つまり、どんな動作でも健康づくりを意識した動作であれば、それは運動になります。

日常生活でも、例えばイスから立ち上がる時に、地面をしっかり踏んで立つことや、歩く際に背中（肩甲骨）を動かすように少し腕を振ることなど、少しの意識で運動に変わります。

涼しい日が増えてきました。ぜひ積極的に体を動かす時間をつくっていきましょう。西川町では、毎週水曜日の14:00～15:30に町民体育館で「楽楽運動教室（奇数週）」と「ゆる楽運動教室（偶数週）」を開催しています。計画的・定期的な運動の機会として、ぜひ活用ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

森林資源の新たな活用として企業研修を企画！

9月4日、睦合地区の山林で町と包括連携協定を結んでいる日建設計コンストラクション・マネジメント(株)の企業研修が行われ、同社の社員11人が参加して杉の木伐倒などを体験しました。

今回の研修は、森林を活用した新しい旅行商品として企業向けの販売を目指して、一般社団法人月山朝日観光協会がツアーとして企画。参加者の皆さんは、インストラクターの指導の下、スギの伐倒や、薪割りなどを体験し、設計会社として普段から接している建材が、山から切り出される過程について学びながら、社員同士のチー

ムワークの醸成などを図りました。研修参加者は、「研修を通じて、木が生きているということに初めて実感できました」と感想を語っていました。



▲研修の様子

世代を超えてプレーボール！ 西川小でゲートボール教室を開催

西川小学校で9月12日、グラウンドの一角に整備したゲートボールコートを使用して、西川町ゲートボール協会(会長・渋谷雄三郎さん・小山)の皆さんと小学校スポーツクラブ授業の参加児童の皆さんが、ゲートボールの練習会を行いました。

練習会では、小学生が慣れない手つきでゲートボールを体験する中、町ゲートボール協会の皆さんが優しく手ほどきをする様子が見られました。今回のスポーツクラ

ブの授業では、特別ルールのミニゲームを行って、世代を超えた交流をさらに深めていく予定です。



▲ゲートボール教室の様子

地域と日本の伝統文化にふれる 文化鑑賞会を開催

9月27日、交流センターあいべホールで西川中学生を対象に文化鑑賞会が開催されました。今年は「地域と日本の伝統文化を学ぶ」をテーマに、岩根沢太々神楽と和泉流一門の「おもしろ狂言らいぶ」を鑑賞しました。

岩根沢太々神楽は、約160年前に福島県伊達地方から伝わったとされ、平成21年に西川町初の無形文化財に指定された踊りです。鑑賞会では岩根沢太々神楽保存会の皆さんが五穀豊穡を祈る「宇賀舞」を披露しました。

和泉流一門の「おもしろ狂言らいぶ」では、日本初女性狂言師の和泉淳子氏と十世三宅藤九郎氏の2人が「桃太郎」と「盆山」を披露。迫力ある発生と楽しい演技に、子供たちは感動していました。また、狂言の歴史や決まりを楽しく教えていただきました。

ワークショップの形で簡単な狂言の演じ方を皆で実践。動物の鳴き方で会場が賑やかになりました。子どもたちは、西川の伝統ある岩根沢太々神楽と狂言を楽しみながら学んでいました。



▲狂言「桃太郎」



▲岩根沢太々神楽「宇賀舞」

結婚50周年の節目を祝う おしどり金婚さん顕彰式

9月20日、交流センターあいべで西川町老人クラブ連合会(後藤武志郎会長)が主催する「おしどり金婚さん顕彰式」が開催されました。昭和49年に結婚した14組のうち10組のご夫婦が出席し、結婚50年の節目を祝いました。この度、金婚式を迎えられたご夫婦には、山形新聞と山形放送から記念リリーフ(楯)とともに結婚記念日当日の山形新聞の記事が贈呈されました。

金婚式を迎えられた皆さん、おめでついでいます。



▲おしどり金婚さん顕彰式の様子

声磨き教室で心身ともに健康に！ 「モンテディオやまびこ」スタート

町は、包括連携協定を締結したモンテディオ山形が行っているヘルスケア事業「モンテディオやまびこ」をスタートし、9月13日、第1回目の声磨き教室を開催しました。これは、全3回の声磨き教室をとおして高齢者の心身の課題を改善し、地域活性化を目指す取り組みで、教室の参加者18名は、ボイススクリエーションシクル佐藤恵先生の指導により、口の開き方、息を真つすぐ出す発声法、腹式

呼吸法などを実践し、モンテディオ山形の体操「モンテテッて体操」や、応援歌(チャント)を練習しました。10月27日には天童市のNDソフトスタジアムで試合を観戦しながら、成果披露を行います。

▶発声法を学ぶ参加者



笑顔あふれるダンスイベント 「あおぞら舞踏会」開催！

9月29日、道の駅にしかわのフエリシア公園でダンスイベント「あおぞら舞踏会」が開催されました。これはダンスの楽しさをたくさんの方と共有し、ダンスを通して人や地域をつないでいくことを目的に西川スマイリークラブが主催したもので、昨年に引き続き2回目の開催。県内外から参加した11組のダンスチームが息の合ったダンスを披露し、会場を沸かせて、皆さんの笑顔があふれていました。



▲イベントの様子

ウノハウス

0120-73-8718

営業時間/9:00-18:00 定休日/火曜日・水曜日
株式会社ウノハウス リノベーション事業部

【山形ショールーム】山形市大野目4丁目1-37
【米沢ショールーム】米沢市金池5丁目3-2
【福島ショールーム】福島市吉倉字前田25-5
【仙台ショールーム】仙台市青葉区昭和町3-15 1F

▼WEB相談

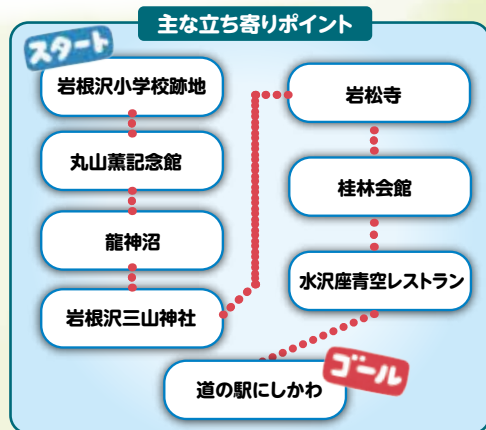


めぐって・食べて・つかる

『第4回ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 西川町』

開催!

9月28日、「第4回ONSEN・ガストロノミーウォーキングin西川町」が岩根沢地区で開催され、県内外から187名が参加しました。丸山薫記念館や岩根沢三山神社、龍神沼などの岩根沢地区の名所を巡る約8キロのコースを歩きました。各所で設けられたチェックポイントでボランティアの皆さんのおもてなしで迎えられながら、月山和牛の牛串や芋煮汁、地酒など地元の名産を味わいました。



編集雑記

今号では「お茶のみ会」について紹介させていただきました。集まる機会が減少しているなか、気軽に交流できる場があることはとても大切だと感じました。皆さんもぜひ足を運んでみてください。
取材にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。
(伊藤)



今年10周年をむかえた「いつてみつぺ」では、毎週ドリームクラブの皆さんが考え、計画したゲームやイベント、手作りのお料理が振舞われています。皆さんの元気と活力になっています。
(2〜3頁に関連記事)

今月の表紙・裏表紙



LINE

@nishikawa_town



X

@nishikawatown



Instagram



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



10/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,237人 女 2,334人 計 4,571人 世帯数 1,804 ()は前月比
(-3) (-6) (-9) (-2)